令和4年度事業報告承認の件

I 病虫害等防除推進事業

〈事業の内容〉

農作物や花木類に発生する病虫害や雑草の防除法に関する指導・助言、関連情報の提供、植物防疫研修会の開催、農薬適正使用の啓発等を通じ、安全で安心な県産農産物の安定生産に寄与する事業であり、事業費は会費および県補助金によった。

※ 県補助金の名称:公益社団法人石川県植物防疫協会事業費補助金

(1)防除相談・指導業務

農家、農業団体等の現場指導者から持ち込まれる病虫害等の診断・同定と防除指導や農作物の栽培法について20件の相談に応じた。

また、農薬の適正かつ効率的な使用に基づく病虫害・雑草の防除を推進するため、県が編集する「農作物病虫害・雑草防除指針」を増刷(380部)し、会員、現場指導に携わる農業団体等に提供した。

(2)農薬危害防止啓発業務

県と連携して農薬危害防止キャンペーン(6月1日～8月31日)に取り組み、当協会ではチラシ5,500枚を作成・配布し、農家や一般県民に対して農薬に対する正しい知識と適正な使用を啓発した。

また、農薬工業会が発行する「農薬中毒の症状と治療法」を100部購入し、県の保健福祉センターを通じて医療機関に提供し、農薬中毒が発生した場合の適切な対応に備えた。

(3)研修会開催業務

農業の現場指導者の技術力向上を目的に、病虫害や雑草の防除等に関する新しい専門知識等について専門家を招聘して、研修会を毎年7月に開催している。しかし、令和4年度は「協会設立50周年記念事業」の一環として、令和5年3月22日に開催した記念式

典の基調講演と兼ねての研修会開催となった。石川県農林総合研究センター所長の藪哲男氏に「近年開発された害虫防除技術について」と題して、農林水産消費安全技術センター農薬検査部長の入江真理氏に「農薬登録から見た農薬開発の現状と今後の動向について」と題して講演をしていただいた。参加者は、市町・JA・NOSAIの植物防疫担当者のほか、農業試験場の研究員、農薬卸・販売業者、農薬メーカーのプロパー等 62 名であった。

(4) 広報業務

会報「植防いしかわ」を年2回発刊し当協会の行事や事業の進捗状況、除草剤、殺菌・殺虫剤の実験展示圃成績等を掲載し、会員、市町、農業団体等に紹介した。

また、県が発表する病虫害発生予察情報(年 8 回)をJA、NOSAI等の現場指導者、農薬卸業者等に伝達するとともに、当協会のホームページにも掲載して農家や一般県民への周知を図った。

(5) 無人ヘリコプター防除推進業務

水稻、大麦、大豆等の病虫害に対する無人ヘリコプターによる防除について、人畜の安全性に対する確保と周辺環境への汚染を未然に防止するため、石川県農業用無人ヘリコプター運営協議会との連携のもと、オペレーター、ナビゲーターに対する安全講習会を、大麦の無人ヘリ防除が4月に実施されることを踏まえて、令和3年度から3月に開催している。

令和4年度の安全講習会は、石川県農業会館にて新型コロナウイルス感染拡大防止対策を十分とったうえで、リモート(Zoom)を併用して令和5年3月3日に開催した。安全講習会には2名の講師を招き、ヤマハ発動機株式会社ソリューション事業本部USM事業推進部の服部寛氏に「無人航空機防除における安全運航」について、石川県農業政策課消費安全グループリーダーの小谷俊之氏に「航空法改正に伴う無人ヘリ防除対策」について講演をしていただいた。参加者は42名であった。

水稻病虫害の基幹防除が中盤を過ぎた8月8日に、石川県農業用無人ヘリコプター運営協議会の役員と連携し、安全操縦を啓発するため散布現場への早朝巡回を行った。

オペレーターのさらなる資質向上(操縦の基本事項の遵守、操縦技術)に向け、石川県農業用無人ヘリコプター運営協議会と共催し、毎年9月下旬に「無人ヘリコプター飛行技術競技大会」を開催している。これは11月に行われる全国の競技大会の県予選として実施しているものであるが、令和3年度に引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から競技大会は実施しなかった。

II 農薬試験事業

〈事業の内容〉

農薬による病虫害及び雑草の防除を安全かつ効率的に実施することを通じて県産農産物の安定生産・安定供給を図る目的のもと、防除効果の高い開発未登録農薬の農薬登録に向けた圃場試験を実施した。

また、新規に登録された農薬の農家への普及に先立ち、県内各地で試験的に使用して現地適応性を検証する試験を実施した。事業費は試験を依頼する農薬メーカー等の全額負担とした。

(1) 開発未登録農薬の実用性試験

農産物の安定生産・安定供給には、病虫害や雑草の防除を安全かつ効率的に実施することが重要であり、そのためには防除効果がより高く、毒性がより低い新農薬を迅速に農家に普及する取り組みが必要となる。

新農薬は、農薬取締法に基づき国の審査を受け農薬登録されなければ販売できない。審査には、公的機関で実施された薬効、薬害、作物残留等に関する試験データが必要となる。当協会では、新農薬の登録審査に必要な一連の試験を「開発未登録農薬の実用性試験」として、石川県農林総合研究センターとの連携のもと、毎年実施している。

令和4年度は94剤(前年95剤)の試験を一般社団法人日本植物防疫協会および公益財団法人日本植物調節剤研究協会から受託し、当協会では49剤(前年65剤)を試験し、残り45剤(前年30剤)は、石川県農林総合研究センターで試験を実施した。

※ 県の事業名：農薬等新資材地域適応性実証事業

表1 令和4年度 開発未登録農薬の実用性試験実施件数

実施機関 試験区分			農林総合研究センター					石川 植防	合計
			育種栽培 研究部	資源加工 研究部	砂丘地農 業研究セ	能登特産 物栽培G	林業試験 場		
新農薬 実用化 試験	水 稲	殺菌剤		2				2	
		殺虫剤					12	12	
		薬 害					2	2	
	大 麦	殺菌剤							
		殺虫剤							

実施機関 試験区分			農林総合研究センター					石川 植防	合計
			育種栽培 研究部	資源加工 研究部	砂丘地農 業研究セ	能登特産 物栽培G	林業試験 場		
新農業 実用化試験	大豆	殺菌剤							
		殺虫剤							
	野菜	殺菌剤	2	2	2				6
		殺虫剤	5	1	7	3		5	21
		薬害	1		3			1	5
	花き	殺菌剤							
		殺虫剤							
		薬害							
	落葉 果樹	殺菌剤			1				1
		殺虫剤							
		薬害							
	寒冷地 果樹	殺菌剤	4						4
		殺虫剤							
		薬害							
	樹木	殺菌剤							
		殺虫剤							
	作物 残留 試験	水稲						2	2
		野菜						15	15
		果樹						12	12
	新植物 調節剤 実用化試験	除草剤	水稲	10					10
および 大麦									
生育 調節剤		大豆							
		野菜							
試験		果樹			2				2
		残留							
合計			22	5	15	3	0	49	94
前年合計			12	7	6	2	3	65	95

石川県植物防疫協会:49剤(薬効試験17剤、薬害試験3剤、作物残留試験29剤)

石川県農林総合研究センター:45剤(薬効試験41剤、薬害試験4剤)

(2)新規登録農薬の現地適応性試験

新規に登録された農薬について、農家普及に先立ち県内各地で試験的に使用し、効果の安全性、薬害発生の有無等を確認する「新規登録農薬の現地適応性試験」を実施した。

農薬の登録に当たっては、効果に関するデータがAからDまでの4段階で判定され、C判定以上が農薬登録の条件となっている。

※ A:効果が高い、B:効果がある、C:効果は認められるが、その程度はやや低い、
D:効果は低い

新規に登録された農薬の効果判定レベルは公表されておらず、特にC判定で登録認可された農薬は、使用時期や場所によっては期待するほどの効果が得られない場面も想定される。このため、新規登録剤については本試験を実施している。

令和4年度は55剤で「普及性あり」の判定結果が得られた。これらの農薬は、今後県内に広く普及されることになる。

表2 令和4年度 新規登録農薬の現地適応性試験実施箇所数

農林総合事務所等 区分	南加賀	石川	県央	中能登	奥能登	石川植防	箇所数計	農薬数計
水稻・畑作物の除草剤	8 (11)	7 (11)	9 (10)	9 (11)	9 (12)	10 (10)	52 (65)	29 (38)
水稻・畑作物の殺菌・殺虫剤	5 (4)	4 (1)	3 (3)	5 (4)	5 (2)	—	22 (14)	12 (7)
野菜の殺菌・殺虫剤	2 (2)	1 (1)	2 (1)	3 (2)	1 (2)	—	9 (8)	9 (8)
果樹の殺菌・殺虫剤	3 (3)	2 (1)	3 (4)	4 (2)	1 (2)	—	13 (12)	8 (10)
合計	18 (20)	14 (14)	17 (18)	21 (19)	16 (18)	10 (10)	96 (99)	58 (63)

注) ()は令和3年度

表3 主な行事、会議等

月/日	会議・行事名	場 所	概 要
5/23	事務監査	NOSAI 会館	令和 3 年度の事業執行状況、収支計算書等の監査
6/3	虫供養	農業試験場	虫塚にて仏式で供養
6/9	第 1 回理事会(決算理事会)	NOSAI 会館	令和 3 年度事業報告、収支決算の承認、通常総会の日時、場所、提出議案の決議
6/14 ・15	水稻除草剤展示圃試験の現地中間検討会(6/14 能登、6/15 加賀)	現地圃場	試験地巡回による効果の確認 (事務局のみで巡回)
6/17	農業用無人ヘリコプター運営協議会総会	農業会館	令和 3 年度事業報告、収支決算の承認、令和 4 年度事業計画等の審議
6/29	第 39 回通常総会	NOSAI 会館	令和 3 年度事業報告、収支決算の承認、令和 4 年度会費徴収額及び役員報酬額の決議、理事及び監事の補欠選任の決議等
8/8	無人ヘリコプター安全操縦啓発巡回	現地圃場	無人ヘリコプター運営協議会役員による現地巡回
8/31	植防いしかわ第 160 号発刊	—	公益社団法人石川県植物防疫協会第 39 回総会の概要、第 33 回虫供養式典等
9/6	水稻等除草剤実験展示圃試験成績検討会	Web 開催	新規登録除草剤についての地域適応性を検討
11/7	新農薬実用化試験成績検討会	Web 開催	開発未登録農薬の薬効薬害試験の成績検討
11/25	殺菌・殺虫剤実験展示圃成績検討会	Web 開催	新規登録殺菌・殺虫剤の地域適応性を検討
12/1	植防いしかわ第 161 号発刊	—	水稻除草剤実験展示圃および殺菌殺虫剤実験展示圃成績検討会の概要
2/9	試験委員会	Web 開催	次年度の実験展示圃設置薬剤の選定

月/日	会議・行事名	場 所	概 要
2/17	作物残留試験推進会議	Web 開催	標準操作手引書の改正点に係る説明、 残留試験に係るトラブルの事例紹介ほか
3/1	第4回理事会	NOSAI 会館	令和5年度事業計画および収支予算案 の審議等
3/3	石川県農業用無人ヘリコプターオペ レーター安全講習会	農業会館 (Web 併用)	「無人航空機防除における安全運航につ いて」 講師:服部寛氏(ヤマハ発動機株) 「航空法改正に伴う無人ヘリ防除対策に ついて」 講師:小谷俊之氏(石川県農業政策課)
3/8	令和5年度実験展示圃設計打合 せ会議	Web 開催	令和5年度実験展示圃試験について、 農林総合事務所の試験担当者及びメー カーの担当者が参加して、試験の実施に ついての内容確認等
3/22	協会設立50周年記念式典	ホテル日航金 沢	基調講演、功労者表彰、記念祝賀会 ※基調講演は「第48回植物防疫指導者 研修会」を兼ねる